

## ザ・仕事人

### 仕事場所 ～社会福祉法人 光陽会～

このコーナーは、職場を訪ねし頑張る卒業生を紹介します



シャカイフクシホウジン コウヨウカイ (キンポウエン)

社会福祉法人 光陽会 (金峰苑)



鹿児島県

南さつま市金峰町にある社会福祉法人光陽会は、2017(平成29)年9月に「ユースエール認定」を取得されました。ユースエール認定制度とは、若者雇用促進法に基づく認定で若者の採用・育成に積極的に、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。上記のマークなどは、鹿児島労働局ホームページに記載があり情報発信されています。本校卒業生が多数在職しており、現在も介護実習などで大変お世話になっています。



- 下釜 実穂さん (前列右端、平成23年3月総合福祉科卒業)
- 福嶋 由里絵さん(前列右2人目、平成24年3月同科卒業)
- 中間 美和さん (前列右3人目、平成25年3月同科卒業)
- 永山 愛さん (前列左端、平成23年3月普通科特I卒業)
- 阿久根 義彦さん(後列左端、平成15年3月医療福祉科卒業)
- 中間 靖吾さん (後列右2人目、平成15年3月同科卒業)
- 上野 宏誠さん (後列右端、平成22年3月総合福祉科卒業)

平成29年12月18日(月)  
南日本新聞掲載記事より抜粋

南さつま市の特別養護老人ホーム金峰苑では、働きやすい職場を目指して勤務態勢を見直してきた。まずは出勤、退勤。シフトが15分刻みに30種以上あり、朝夕は15分おきに職員が入り替わる。一斉に職員が入替わる態勢だと、引き継ぎがうまくいかなかった場合などに残業が発生しやすかったため見直した。松崎事務長は「以前は『早く来て遅く帰る』という働き方が美徳だった。これでは若い人がついてこれない。『早く来るな早く帰れ』を徹底したい」と力を込めた。

## 卒業生座談会

\*上記以外の卒業生も登場してくれました。

### Q具体的にどんなお仕事ですか？

**上野さん**：一言で言うと、高齢者の方の生活支援です。

**中間さん**：高齢者の方の生活のお手伝いをします。在宅で生活することが困難となった高齢者の方の身体面・精神面のサポートとして、具体的には食事介助や排泄介助、入浴介助などをします。またお話し相手になることも仕事です。

**大原さん**：私は看護師として働いていますが、診察の介助や患者さん、利用者さんのケアを行っています。



- 大原 栞さん (平成26年3月看護学科卒業)
- 嶽小原 理恵さん(平成22年3月総合福祉科卒業)
- 中原 瑚々さん (平成25年3月同科卒業)

### Qなぜこのお仕事に就いたのですか？

**下釜さん**：子どもの頃に祖父の介護を経験したことがきっかけです。

**中原さん**：高校在学中の施設実習で利用者様とふれあう中で、「ありがとう」と言ってくれたり、笑顔を見せてくださったりしたとき、この仕事はやりがいを感じられると思ったからです。

**嶽小原さん**：この先も介護職は必ず必要とされる職業だと思い、福祉の道に進みました。

**福嶋さん**：私は子どもの頃、慰問で老人ホームを訪れたときに、介護職員の方の働く姿を見て、あこがれを感じたことがきっかけです。

### Q高校在学中、進路決定に向けて頑張ったこととは何ですか？

**福嶋さん**：国家試験合格に向けての勉強に励みました。また、面接の練習も頑張りましたね。

**上野さん**：進学するために、やっぱり勉強に励みました。

**大原さん**：お世話になった指導者さんや患者さんの言葉を頭に置いて、実習や勉強を頑張りました。



### Q 鳳凰高校の後輩の皆さんに、進路決定に向けてアドバイスをお願いします。

**中間さん**：進路選択はたくさん迷うと思いますが、介護の仕事は楽しくて素晴らしい仕事です。ぜひ介護の仕事に就くのも良いと思います。

**嶽小原さん**：あまり自分を追い込みすぎないように、頑張りどころで気合いを入れて！時には「適当」ということも大事だと思います。

**中原さん**：人生は一度きりなので、じっくり考えて後悔のない選択ができるように頑張ってください。

本当になりたい自分を見つけるために一番大切なことは何だと思いませんか。それは、大学・短期大学・専門学校を『自分で決める』ということです。そのためには、自分の目で見て肌で感じて情報を収集することが不可欠です。今回は『自分で決める』ために必要な情報をお届けします。

### 事前編 : 準備を怠らないこと

- 1 オープンキャンパス参加校を決め、申し込みをする。
- 2 許可用紙(下図参照)に記入・押印→許可(担任・進路指導部長 中村章二先生)をもらう→コピーをもらう。
- 3 分からないこと・質問等を事前にチェックしておく。(原本は進路指導部保管)

\*用紙はC館1階進路指導室にあります。

### 当日編 : 学校のココをよく見ること

- 4 学びたいことがしっかり学べるか?
- 5 施設・設備は充実しているか?
- 6 先輩たちの姿はどうか?
- 7 どんな教授や講師陣が顔を揃えているか?
- 8 疑問・質問は積極的に、納得のいくまでしよう。

学食でランチ  
もいっしょ!

### 後日編 : 「評価」と「希望」のマッチング検証

- 9 忘れないうちに学校の特徴を分析・まとめよう。
- 10 納得がいくまで考察し、総合判断しよう。

時間にゆとりのある  
1・2年生のうちから  
積極的に参加しよう!



### ♪参加した先輩の声♪

AO入試や推薦入試を考えている人は、絶対オープンキャンパスへ行くべきです！  
学校によっては参加特典やエントリーシート・過去の入試問題などを頂けます。  
実際に足を運ぶだけのことはありますよ！ (29年度 文理コース卒業生)

新生活への不安がありました。学校生活だけでなく寮やアパートなど色々な情報を得ることが出来ました。  
親身になって相談に乗ってくれる先生方の姿を見て「ココなら大丈夫!」と確信しました。(29年度 特進I類コース卒業生)

7月に入りHPで予約受付を開始した大学もあります。この夏どう過ごすかが、今後の皆さんの進路決定を左右するかもしれません。  
どんな自分になりたいですか? そのために今できることは何ですか? じっくり考える夏休みにしましょう。

## こんな時代

このコーナーでは、時事ニュースを紹介し、皆さんが持つという間に訪れる高校卒業後の「自分」、または「実社会」のことなどを思い巡らす材料にしてもらいたいと考えています。さらに、就職試験の面接、進学試験の小論文での題目となる可能性も十分考えられます。  
「こんな時代」だから、この「進路」に決めたこととなることも。

## 外国人受け入れ拡大

政府が閣議決定した「骨太の方針」に外国人の就労を目的とした在留資格の新設を盛り込んだのは、深刻化する人手不足に対応するためだ。これまで日本は医師や教師など、高い技術力や専門知識を持つ人に限って外国人の就労を認めてきた。無制限に外国人を受け入れると日本人の「職」が奪われる恐れがあることや、日本の慣習や法律に詳しくない外国人が急激に増えれば、治安が悪化する懸念が生じることが理由だ。

だが少子高齢化で特に建設など現場労働の分野で人手不足が深刻化。政府は「産業界にとって成長のブレーキになりつつある」と判断し、受け入れ拡大を決めた。

国内の現場労働の分野では、高い日本の技術力を学び、祖国で役立ててもらおう「技能実習生」や留学生のアルバイトなどに労働力を依存しているのが実態。そこで①3～5年の技能実習生を終了②日常会話レベルの日本語や技能の試験に合格のいずれかを満たした外国人に対し、人手不足が深刻な業種に限定し就労を認める資格を設けることにした。政府は農業、介護、建設、造船、宿泊の五分野を想定。さらに増える可能性もある。  
在留期間は最長5年。技能実習だった外国人は実習期間と合わせて最大で計10年間、日本で働くことができるようになる。

## CHECK! 移民政策???

安倍晋三首相は「移民政策とは異なる」と強調する。新資格の取得者はあくまで「期限付き労働者」で、働き手にならない家族の帯同は認めない。

引用文 平成30年6月16日東京新聞朝刊